

06 オープントーナメント不死鳥杯

福井県空手道交流選手権大会試合規約

国際空手道連盟極真会館

全日本極真連合会 福井県本部 高橋道場

1. 試合時間 幼児・小学生・中学生：予選 本戦2分、延長1分、(体重判定) 再延長1分
準決勝～本戦2分、延長1分、再延長1分
高校生・一般・女子：予選 本戦2分、延長1分、(体重判定) 再延長1分
準決勝～本戦3分、延長2分、再延長2分
体重判定は(幼・小中学生は3キロ以上、高校生・一般・女子は5キロ以上)をもって勝敗を決する。
2. 防具 幼・小・中学生：グローブ、スネサポーター、ファールカップ、ヘッドギア、膝サポーター
高校生：グローブ、スネサポーター、ファールカップ、膝サポーター
女子：グローブ、スネサポーター、チェストガード、膝サポーター
一般：スネサポーター、ファールカップ、
ヘッドギアは主催者側が用意する。それ以外は選手各自が用意すること。
グローブ、スネサポーターは布製・革製どちらでも良いが、硬質の素材が入っていない物であること。
大会医師、審判長の許可のないテープングの使用は認めない。
3. 着衣 清潔な空手着を着用する。
4. 勝者 一本勝ち、判定勝ち、相手の反則ないし失格による勝ちにより決定する。
5. 一本勝ち 反則箇所を除く部分への突き、蹴り等で技を決め、3秒以上相手が立ち上がらないとき。
相手の戦意が喪失したとき。
技ありを2回であわせ一本となる。
6. 技あり 反則箇所を除く部分への突き、蹴り等で技を決め、そのダメージにより、一時的に動きが止まったり、体勢が大きく崩れた場合。足掛けや下段蹴りの合わせ技で相手をきれいに倒し、且つ下段突きを決めた場合、技ありとなることがある。
7. 判定 一本勝ち、失格以外において、主審、副審4名のうち過半数の判定で決める。
勝敗を決する判定が過半数に満たない場合、延長戦を行う。
延長戦によっても決まらない場合は(準決勝より)再延長戦、体重判定、最終延長戦により勝敗を決する。
8. 反則 手技による首から上への攻撃。
金的蹴り、頭突き。
倒れている相手への攻撃。
背後からの攻撃。
掌底押し、正拳押し、掴み、投げ、手かけ、抱え込み。
技の掛け逃げ。
再三にわたる場外への逃げ。
その他、審判が特に反則とみなした場合。
反則は、悪質なものを除き、注意が与えられる。悪質な場合、減点若しくは失格もあり得る。
注意2回で減点となる。
9. 失格 減点を2回重ねたとき。
試合中、審判員の指示に従わないとき。
出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
粗暴の振る舞いや悪質な試合態度とみなされたとき。
応援態度が悪質な場合にも、該当選手が減点若しくは失格となりうることがある。
申告体重を5キロ以上超えているとき。
10. その他 判定に対する抗議は一切認めない。